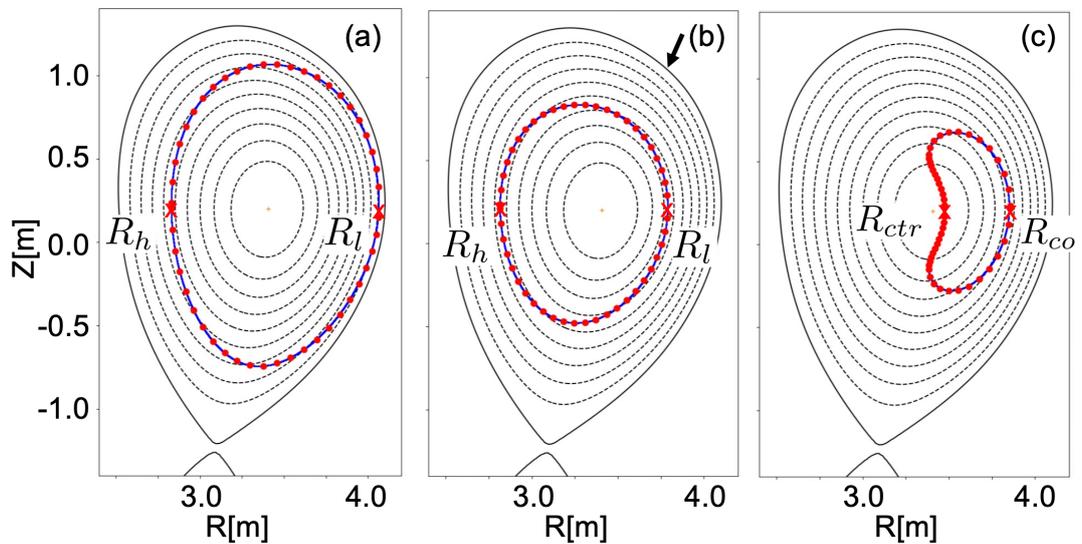


# プラズマ・核融合学会誌

第101巻第6号

2025年6月

解 説	カスケードアーク放電型大口径プラズマウィンドウの実現 .....	山崎広太郎	239
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト .....			246
インフォメーション .....			248
	幅広いアプローチ活動だより (115)		
	【人事公募】		
本 会 記 事 .....			252
	プラズマ・核融合学会 年会参加費改定のお知らせ		
	第42回プラズマ・核融合学会年会一般講演の募集／		
	若手学会発表賞（正会員部門・学生会員部門）		
	【こちら編集委員会です】 発表！ 2024年下半期の学会誌（7～12月号）でもっとも多くダウンロードされた記事はこちら！		
編 集 後 記	会員の声		



## 表紙の絵

高速イオンの軌道と磁気面にはずれがあり、プラズマ加熱・電流駆動計算には軌道の評価が重要である。軌道を追跡して求める（図の青線）のが直接的であるが、計算時間がかかる。そこで軸対称配位で利用可能な解析式を用いて求めた（赤マーカー）。非捕捉（a, b 図）・捕捉（c 図）粒子軌道共に、小半径の1%未満の差であって、加熱・電流駆動評価に十分な精度である。計算時間も1/100程度ですんでいる。この利点を活かしモンテカルロ法によるコードの高速化を行った。

(Kouji SHINOHARA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 20, 1403017 (2025) <https://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません（社外頒布用の複写については許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル2F

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。